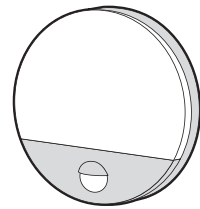


monban センサーウォールライト ドーム型



【お客様へのお願い】 この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保管し、必要なときにお読みください。

1 安全に関するご注意

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

| | | |
|--------|--------------------------------------|--|
| 図記号の説明 | 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 | 注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |
| 表示の説明 | は、してはいけない「禁止」内容です。 | は、必ず実行していただく内容です。 |

| | | | | |
|-----------|-----------|--|--------------|---|
| 警告 | 守る | ● 本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、 確実におこなってください。 | 濡れ手禁止 | ● 乾電池を交換する際は濡れた手で本体に触れないでください。 また本体が濡れている場合も触れないでください。 |
| | 禁止 | ● 本体は水平に取り付けてください。 斜めや逆さまに取り付けると正しく検知が出来ない事があります。 また雨水が入り故障の原因となります。 | 禁止 | ● 点灯中のライトを直視しないでください。 視力に悪影響を及ぼすおそれがあります。 |
| | 禁止 | ● 本体を大量の水がかかる場所に設置しないでください。通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありません。 | 禁止 | ● 布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けしないでください。 火災の原因となります。 |
| | 禁止 | ● 分解・改造をおこなうと保証の対象外となりますのでお止めください。 | 分解禁止 | |

| | |
|---------------------------|--|
| 注意 | ● 本機は人を検知した時にライトを点灯させる機能を有しておりますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 |
| | ● 気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。 |
| | ● 電池残量が少なくなると、ライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。その場合は電池交換をおこなってください。 |
| | ● 電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。 ・電池は⊕⊖方向を正しく入れてください。 ・古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 ・長期間使用にならない場合は電池を取り外してください。 ・電池は充電しないでください。 ・電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。 |
| | ● 電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。 |
| | ● モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。 |
| | ● ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。 |
| | ● 落下・故障の原因になりますので必ず付属品または市販の結束バンドを正しく使用してください。 |
| | ● 本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。 |
| | ● ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが、商品の特性上ご了承ください。 |
| ● LEDの交換はできません。 | |
| ● 仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。 | |

取扱説明書

LS-BH14K4-K (品番:06-4217)
LS-BH14K4-T (品番:06-4218)

2 各部の説明

| | | |
|---------------------------------------|--|---|
| ■本体正面 <p>光源 センサーレンズ</p> | ■本体背面 <p>取り付け穴 電源スイッチ 電池フタ</p> | ■付属品 <p>ネジx2本 コンクリート用スリーブx2本 金属フックx2本</p> |
|---------------------------------------|--|---|

3 電池の入れ方

| | | |
|--|----------|--|
| <p>① 電池フタ</p> | <p>②</p> | <p>単3形アルカリ乾電池8本、または4本</p> <p>① 電池フタを取り外します。電池フタのつめを図の方向に持ち上げると外れます。</p> <p>② 電池ケース内の⊕⊖表示を確認して、単3形アルカリ乾電池8本、または4本をセットします。</p> <p>③ 電池フタを元に戻します。</p> |
| <p>※4本でご使用になる場合左図で囲ったいずれかに、4本全てをセットしてください。</p> | | |

4 取り付ける場所について

| ⚠️ 取り付け注意 | | | | |
|---|----------------|-----------------|------------------------------|-----------------------|
| センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。以下の場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。 | | | | |
| 車の通り道の近く | 強い振動を受ける場所 | 電波の強い場所 | 手前に障害物があるところ(透明のガラスでも動作しません) | 風などで揺れる植物やカーテン・洗濯物の近く |
| 狭い場所でセンサーに向かって直進した場合 | 取り付け高さが3m以上の場所 | 夜間でも明るい街路灯などの近辺 | 大理石の床や壁などの光の反射を強く受ける場所 | エアコンなどの送風を受ける場所 |

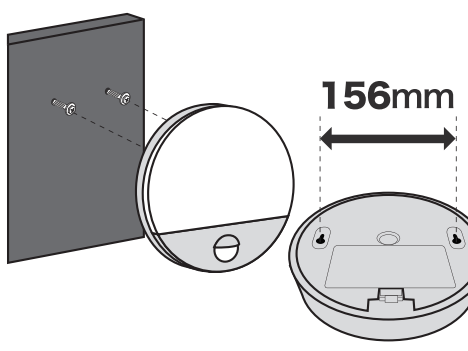
| | |
|---|--|
| <p>⚠️</p> <p>屋外で使用する場合、本体を傾けて取り付けしないでください。検知機能が正常に動作しなくなったり、内部に雨水が入り故障の原因となります。</p> | <p>⚠️</p> <p>本体に対して人が横切るといった場所に取り付けてください。本体正面に対して直進するとセンサーの特性上、検知しないことがあります。</p> |
|---|--|

4 取り付け方法 万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

《コンクリートや木の壁の場合》

①ネジを本体裏面の取り付け穴に合うように取り付けます。ネジは最後まで締めこまず、壁から3~5mm出た状態で止めます。
※コンクリート壁の場合は付属のコンクリート用スリーブをはじめに打ち込んでください。

②本体をネジに掛けて取り付けます。



《柱・ポール・フェンスの場合》

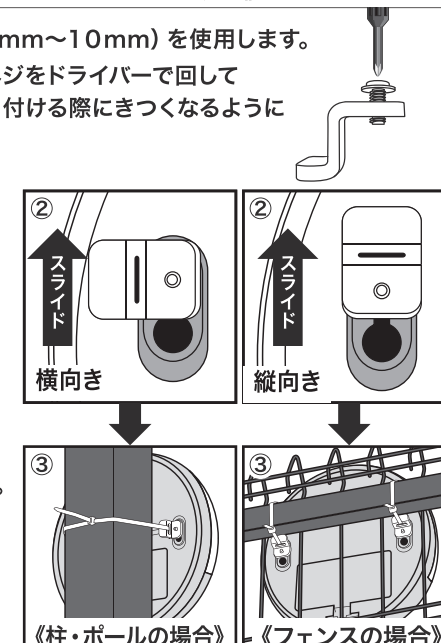
市販の結束バンド（幅5mm~10mm）を使用します。

①付属の金属フックのネジをドライバーで回して本体取り付け穴に取り付ける際にきつくなるように調整してください。

②金属フックを本体取り付け穴に引っ掛けます。引っ掛ける方向は以下の図を参考にしてください。

③結束バンドを通し、落下しないようにしっかりと固定します。

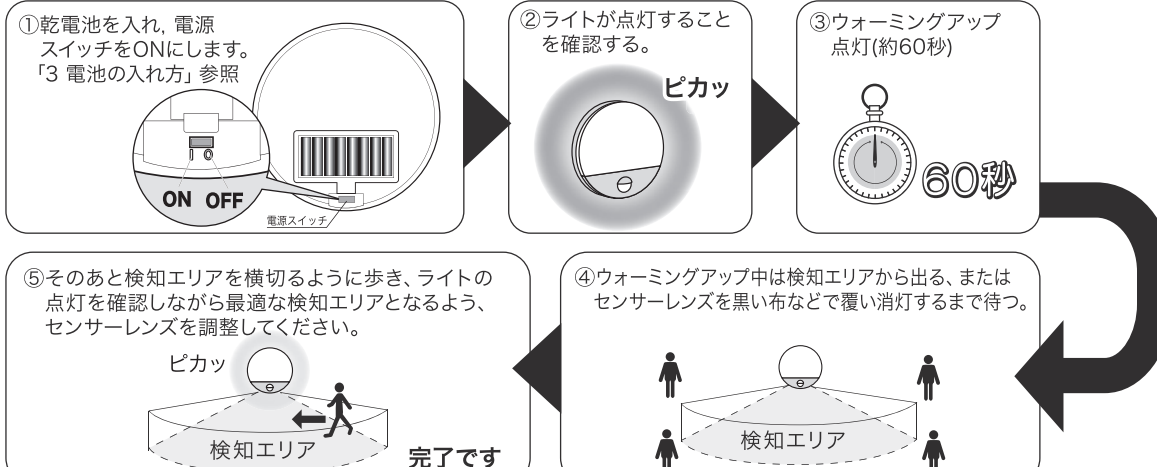
※結束バンドの必要な長さは取り付け場所により異なります。（柱に取り付ける場合は長さ50cm以上必要です。）



5 センサーの動作テスト ※必ず暗い場所で行なってください。

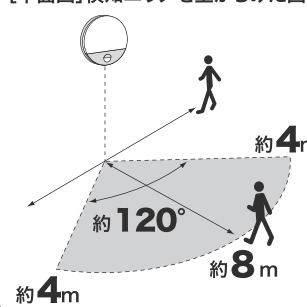
- 乾電池を入れ、電源スイッチをONにします。「3 電池の入れ方」参照
- ライトが点灯することを確認する。
- ウォーミングアップ点灯(約60秒)
- ウォーミングアップ中は検知エリアから出る、またはセンサーレンズを黒い布などで覆い消灯するまで待つ。
- そのあと検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯を確認しながら最適な検知エリアとなるよう、センサーレンズを調整してください。

完了です

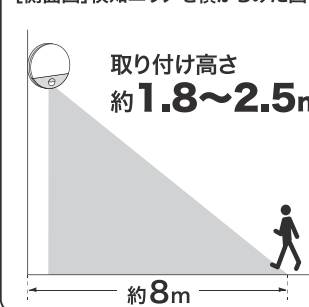


検知エリア 高度：約1.8~2.5m、検知距離：最大約8m(中央) 角度：約120°

【平面図】検知エリアを上からみた図



【側面図】検知エリアを横からみた図



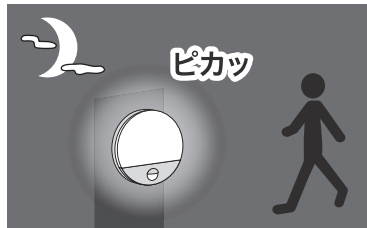
検知エリアに関するご注意

- 検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- 夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき検知しない場合があります。
- 検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- センサーライトの真下は検知できない場合があります。

6 センサーの調整

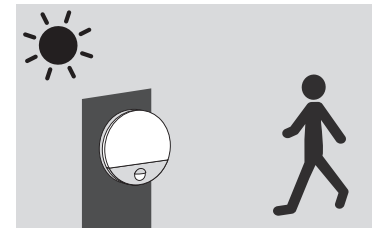
●周囲が暗い時

人を検知してライトが約15秒点灯します。



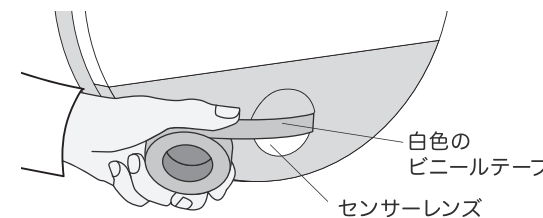
●周囲が明るい時

人を検知してもライトは点灯しません。



検知距離を狭くするには...

- 検知距離を狭める場合はセンサーレンズに白色のビニールテープを貼付します。
- 上側に貼付すると検知エリアが短くなります。
- 左右に貼付すると検知角度が狭くなります。



7 故障かなと思ったら

| 現象 | 考えられる原因 | 処置 |
|-----------------|--|--|
| ライトが点灯しない | ・乾電池が入っていない。または乾電池の接続方向が間違っている | 乾電池の⊕⊖を正しくセットしてください。 |
| | ・乾電池の電圧が低下している(電池寿命) | 新しい乾電池に交換してください。 |
| | ・周囲が明るい | ライトは点灯しません。 |
| ライトが点灯したまま消灯しない | ・検知エリアの設定が適切でない ・センサー部に向かって直進している ・センサーレンズが汚れている | 取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。 「5 センサーの動作テスト」 「6 センサーの調整」をご参照ください。 |
| | ・センサーレンズに蒸気や雨などの水滴が付いている ・寒いときや雨降りるときに人がマフラーや傘などで覆われている ・夏場で周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい ・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した | センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。 |
| 点灯回数が少なくなった | ・検知エリアが遮られている | センサーの前に壁やガラスがあると検知出来ません。 取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。 |
| | ・検知エリア内および周囲に誤動作源がある (例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口、ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト ・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している | 誤動作源を取り除くか 取り付け位置を変更、及び 検知エリアの調整をやり直してください。 |
| 点灯回数が少なくなった | ・乾電池の電圧が低下している(電池寿命) | 新しい乾電池に交換してください。 |

8 仕様

| | |
|-------------------------------|--|
| 名称 | LEDセンサーウォールライト 乾電池式 |
| 検知方式 | 赤外線受動式 |
| 使用電源 | 単3形アルカリ乾電池8本、または4本 ※別売 |
| 電池寿命 | 約10ヶ月(新品電池8本使用、1日5回点灯) ※乾電池の性能、使用条件により大幅に変わる場合があります。 |
| 光源 | 06-4217は白色LED・06-4218は電球色LED |
| 点灯保持時間 | 約15秒(固定) |
| JIS/IES保護等級 (JIS C 0920:2003) | IPX4 (水の飛まつに対して保護する) |
| 使用周囲温度範囲 | -5℃~+45℃ |
| 質量 | 約400g(電池を除く) |
| 外形寸法 | 直径220 x 奥行 60 mm |
| 付属品 | コンクリート用スリーブ2本、ネジ2本、金属フックセット2個 |

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは [お客様相談室](#)へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

受付 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は [修理ご相談センター](#)へ

電話 048-992-3970 平日9:00~17:00
受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます